

現在、好生館では、他の研究機関から検体・診療情報等の提供を受けて、研究の実施に利用しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

【研究課題名】 非絞扼性癒着性イレウスに対するイレウス管挿入と胃管ガストログラフィン注入による改善効果の比較～多施設後向きコホート研究～
【共同研究の代表責任機関及び研究代表者】 佐賀県医療センター好生館 消化器内科 富永直之
【利用・提供の対象となる方】 当施設で 2024 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの期間で、非絞扼性癒着性イレウスに対し、保存的治療を受けた症例を後ろ向きに調査する
【提供を受けている共同研究機関及び研究責任者】 1. 唐津赤十字病院 内科 中山賢一郎 2. 嬉野医療センター 消化器内科 行元崇浩
【提供を受けている検体・診療情報等の項目】 研究登録時には、以下の患者背景データを収集します。 ・ 人口統計学的データ: ◦ 年齢、性別、performance status、絶食期間、在院日数 ・ 身体所見: ◦ 収縮期/拡張期血圧 [mmHg]、心拍数 [beats/min] ・ 血液検査データ: ◦ 白血球数 (WBC) [μL]、ヘモグロビン (Hb) [g/dL]、血小板数 (Plt) [$\times 10^3/\mu$L] ◦ C 反応性タンパク (CRP) [mg/dL]、血中尿素窒素 (BUN) [mg/dL]、クレアチニン (Cre) [mg/dL]、アルブミン (Alb) [g/dL] ・ 偶発症: ◦ 肺炎、敗血症、穿孔 ・ 転帰: ◦ 手術移行、死亡
【利用の目的】 これまでの治療成績を集積し、非絞扼性癒着性イレウスに対し、イレウス管による治療と、胃管およびガストログラフィン注入による治療では手術移行率に差がないことを確認して、より負担の少ない医療を提供すること目的に本研究を行います。
【研究について】 遺伝子解析研究 （有 ☒ 無 ☐) 営利企業との共同 （有 ☒ 無 ☐)

【利用期間】

承認後～2027 年 3 月（予定）

【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】

研 究 責 任 者：消化器内科 富永 直之

問い合わせ担当者：消化器内科 富永 直之

対 応 可 能 時 間： 平日 9 時 ～ 16 時

電 話 ： 0952-24-2171（代表）

E メール：rinsho@koseikan.jp（臨床試験推進部）

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。